

# 講演会のご案内

「災害に備えを」石巻赤十字病院栄養士 佐伯千春氏が体験語る

この度、佐伯千春氏をお招きし講演会を開催致します。

多数の皆様が、ご参加いただき今後の災害対策に活用していただきたいと願います。

公益社団法人沖縄県栄養士会 会長 下地洋子

## \*\*\* 講演 \*\*\*

「東日本大震災を経験して」

日時 平成24年5月26日(土) 12時～14時

～石巻赤十字病院はこう対応した～  
現状と今後の課題、栄養士の立場から

場所 沖縄県医師会館 南風原町新川 218-9

\* 南部医療センター向け TEL888-0087

対象 (120名限定) 県内栄養士・管理栄養士  
栄養士会賛助会員・給食施設等の関係者

講師 石巻赤十字病院 栄養課

栄養課長 佐伯 千春 氏

参加費 栄養士会員 (無料)

開場・受付 12時00分～12時30分

非会員・その他 (2000円)

講演 12時30分～14時00分

\*但し、当日入会の場合は無料となります

### ◎物資途絶、底を突く食料

『河北新聞社ホームページ記事より一部抜粋』

地震発生から1週間ほどがたち石巻赤十字病院は危機 院内で備蓄する食料が底を突きかけていた。

災害用に備蓄していた入院患者400人分の食料は13日までの3日分。14日以降、支援物資として届いた コメや缶詰などの食料は、入院患者や院内にとどまった患者に優先して提供した。

病院食の献立作りを担当する管理栄養士佐伯千春さんは、廊下に横たわっていたお年寄りから

「水をください」と何度も請われた。「ごめんね」としか言えず、その場を後にすることの繰り返し。

涙がこぼれた。病院に届く大口の物資は17日を境に、ぱたりと途絶えた。18日、入院患者に提供

したメニューは朝食＝レトルト赤飯、ゆで卵。昼食＝おにぎり、スパムソテー。夕食＝焼きそば。

佐伯さんのノートには「厳しい あと2日分」(17日)「院内＝食材 非常に厳しい」(18日)と

記されている。「どこにお願いしても、食料は届かない。途方に暮れた」と佐伯さん。・・体験を語る

\*\*\*\*\*

### 申し込みFAX送信票

\*\*\*\*\*

公益社団法人沖縄県栄養士会 FAX 942-5312

※講演会に参加します。

申込締切 5月18日(金)

職場 \_\_\_\_\_ 電話 ( \_\_\_\_\_ )

氏名 \_\_\_\_\_ ( 栄養士・管理栄養士・その他 ) ( 会員・非会員 )

連絡先 \_\_\_\_\_ 電話 ( \_\_\_\_\_ ) \*この情報は当会以外には使用しません

氏名 \_\_\_\_\_ ( 栄養士・管理栄養士・その他 ) ( 会員・非会員 )

連絡先 \_\_\_\_\_ 電話 ( \_\_\_\_\_ ) \*この情報は当会以外には使用しません